

住友商事は長年に亘って蓄積された経験とノウハウを活かし、ベトナム、インドネシア、フィリピンで工業団地ビジネスを展開してまいりましたが、このたびタイにおける工業団地最大手のアマタコーポレーションと業務提携を行い、同社が開発・運営を行う、アマタ・ナコーン工業団地、アマタ・シティ工業団地の販売代理業務を開始致しました。

「Perfect City」をコンセプトに開発・運営され、タイではNo.1の評価を誇る工業団地は、必ずやご進出されるお客様のご期待にお応えするものと思います。

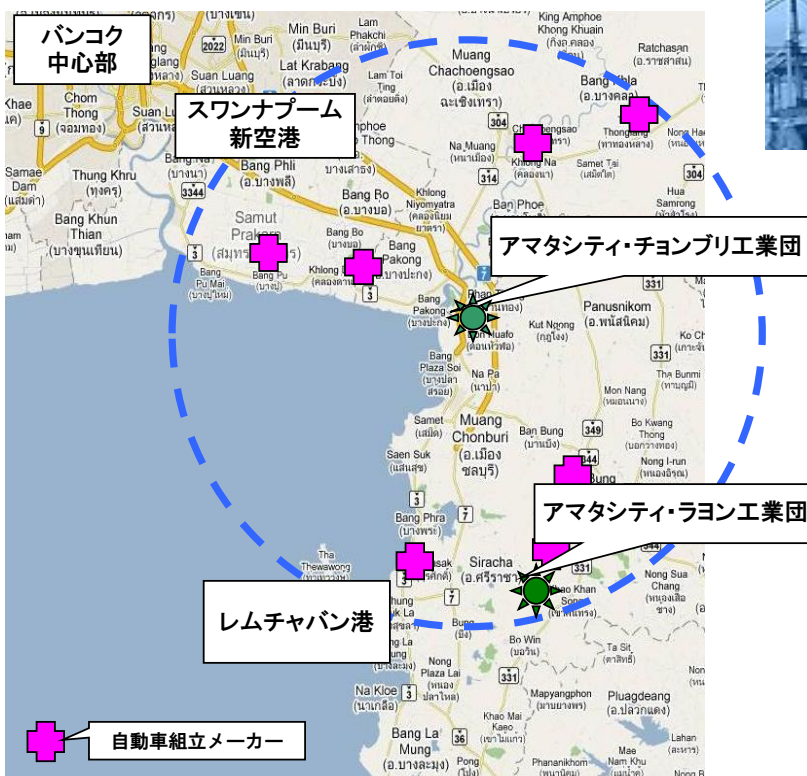
自動車を中心に幅広い業種で、ますます産業の集積が進むタイ東岸イースタンシーボード地区の中心に立地するアマタシティ・チョンブリ工業団地、アマタシティ・ラヨン工業団地への進出を、住友商事がサポート致します。

◎ 日本からの投資先として益々脚光を浴びるタイ



従来より挙げられているタイ進出の3つの魅力、充実した投資・生活環境、日系企業の存在感、広がる裾野産業に加え、政府による税制優遇措置や積極的な投資誘致の姿勢、良好な労使関係など、タイへの進出では多くのメリットが期待できます。

「アジアのデトロイト」とも呼ばれるタイの自動車産業は、その9割を日系企業が占めるなど日系メーカーの独壇場となっており、アマタシティ・チョンブリ工業団地を中心とする60キロ圏内(1時間圏内)に多くの企業が集積しています。



今後、巨大な内需を抱える市場大国へと成長していく中国、インドへのアクセスを考えた時、インドシナの物流ハブとしてタイ東岸地域の存在感はますます増していきます。

東西回廊が完成し、タイ～ベトナム(北部)、ベトナム(北部)～中国(香港、華南)の陸路物流がより活性化し、部品調達、製品の動きが多様化することが期待されます。

一方、タイは既にインドとの間で経済連携協定を締結済みで、そのアーリーハーベスト(先行実施)として82品目を相互に非関税化し、インド向け輸出拠点としての魅力を高めつつあります。

タイ国内、ASEAN域内への供給基地としての位置付けに加え、中国、インドという2大国を睨んだ戦略的進出の受け皿として、全世界への輸出基地としてアマタシティ・チョンブリ工業団地、アマタシティ・ラヨン工業団地は皆様の投資を心からお待ちしております。

タイへの進出をご検討中のお客様は、是非住友商事までお問い合わせ下さい。



スワンナプーム新空港



レムチャバン港

■ アマタシティ・チョンブリ工業団地

1. 立地
チョンブリ県 バンコクから東57キロ
(新空港から42キロ、レムチャバン港から46キロ)
2. 設立年度 1989年
3. 総開発面積
4,000 ha (25,000ライ) ~更に拡張中~
4. 賃貸物件
貸工場、事務所棟
5. 入居企業数
770社以上 (うち日系企業の割合 約64%)
6. 主要ご入居企業
株式会社小松製作所様、株式会社ブリヂストン様、旭硝子株式会社様、
花王株式会社様、デンソー株式会社様、ダイキン工業株式会社様、等々
7. 総従業員数 約18万人 (内、日本人約3,000人)
8. 団地内施設
物流センター、教育施設、銀行、各国料理店(日本、ドイツ、タイ)
マンション、病院、旅行会社、託児所、ゴルフ場等



■ アマタシティ・ラヨン工業団地

1. 立地
ラヨン県 バンコクから南東114キロ
第2の日本人街 シラーチャ市より通勤圏内
(新空港から99キロ、レムチャバン港から27キロ)
2. 設立年度 1995年
3. 総開発面積
2,720 ha (17,000ライ) ~更に拡張中~
4. 賃貸物件
貸工場、事務所棟
5. 入居企業数
360社以上 (内、日系企業の割合 約30%)
6. 主要ご入居企業
住友ゴム株式会社様、横浜ゴム株式会社様、
ダイキン工業株式会社様、BMW株式会社様、等々
7. 総従業員数 約5万人
8. 団地内施設
物流センター、教育施設、銀行、各国料理店(日本、イタリア
タイ)、マンション、クリニック、共用スポーツ施設等

<販売代理店>

◆ 住友商事株式会社

海外工業団地部
第1チーム

チームリーダー: 流田(ながれた)
担当: 本間(ほんま)

TEL 03-6285-9652 / FAX 03-6285-6372

(kazuhiro.nagareta@sumitomocorp.com)
(miho.homma@sumitomocorp.com)
(<http://www.sumitomocorp.co.jp/indpark/>)

